

経営比較分析表（令和6年度決算）

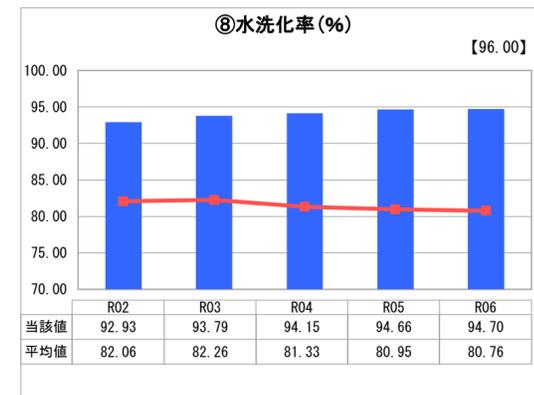
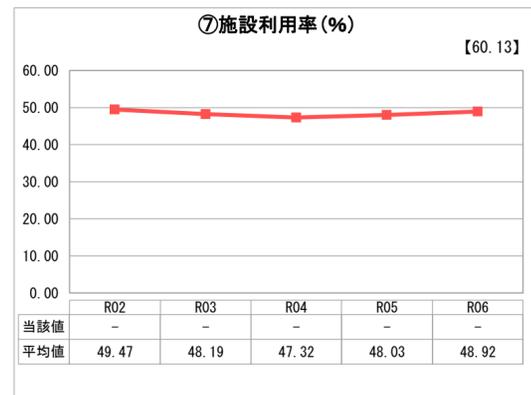
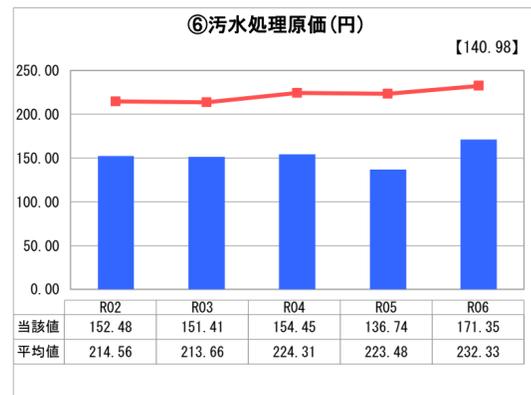
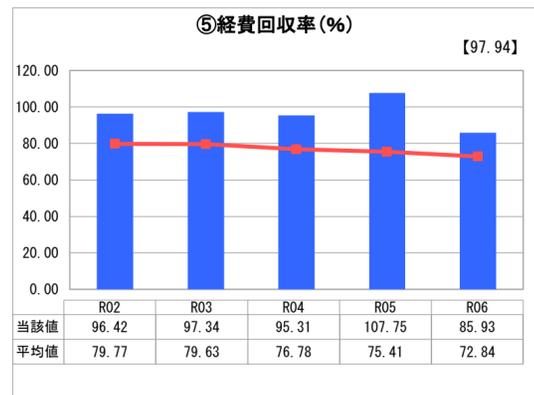
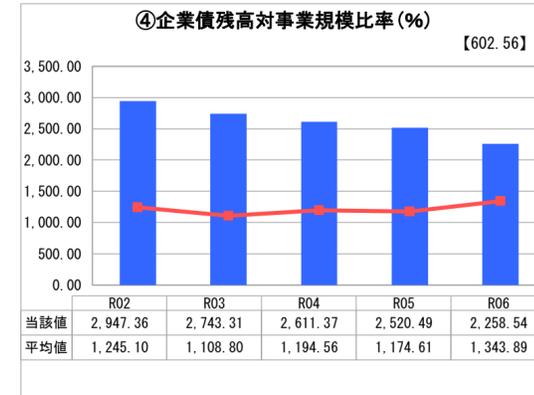
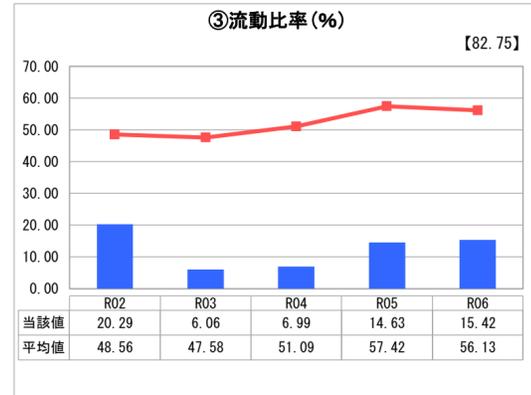
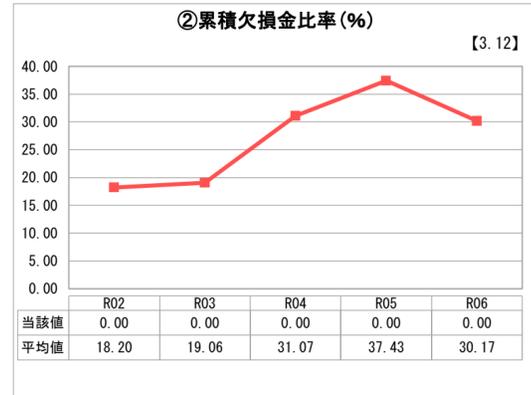
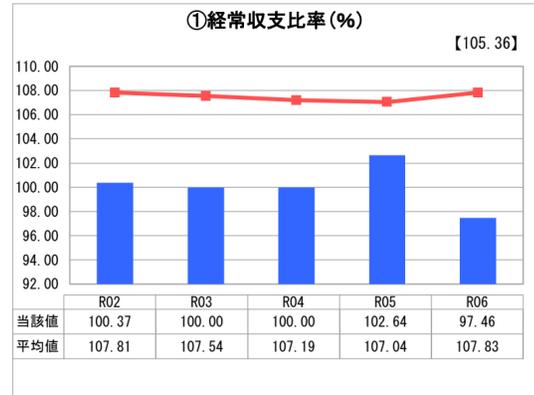
兵庫県 中央市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.06	23.60	73.17	2,750

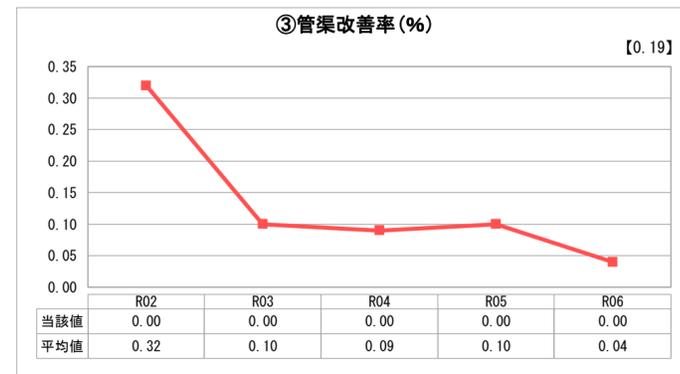
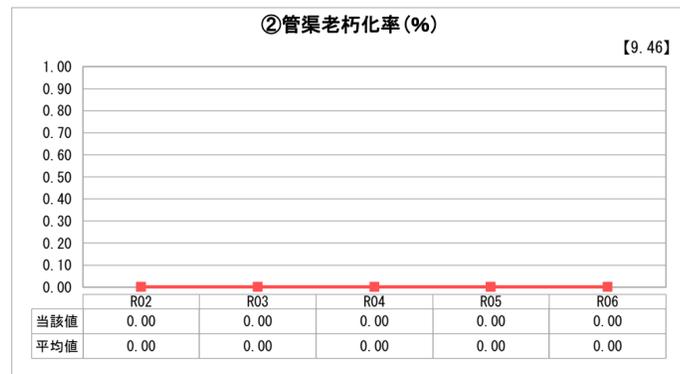
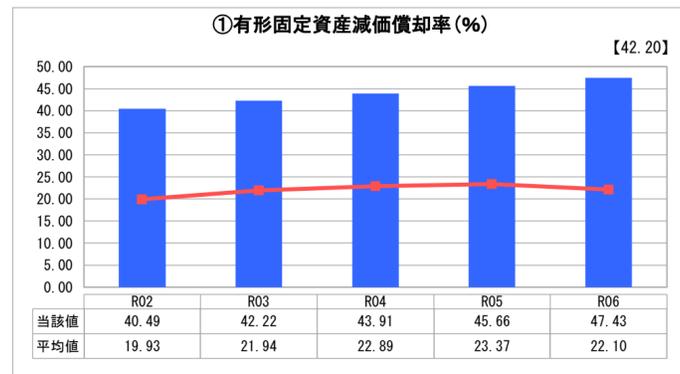
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,749	658.54	51.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,893	4.05	1,948.89

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、100%となっているが、一般会計からの繰入を行ったことによるものである。
 ② 累積欠損金比率は、令和6年度は0.00%と、前年度と同様に0.00%となっている。
 ③ ④ 流動比率の値が類似団体と比較しても低く、また、企業債残高対事業規模比率が高くなっているのは、当初の下水道施設整備に多額な費用がかかり、その地方債借入額が高額であることが影響していると考えられる。
 ⑤ ⑥ 汚水処理原価は類似団体平均を下回っており、結果的に経費回収率が類似団体平均よりも高くなっている。処理場を有せず、すべてを流域下水道に接続していることから、効率的に経営できているものと考えられる。
 ⑦ 水洗化率は類似団体平均を上回っており、良好と言える。

2. 老朽化の状況について

管路老朽化率は低いが、マンホールポンプや計器などの機器類の償却が進んでおり、計画的な機器更新が必要となっている。今後は老朽化の進行とともに修繕料の増加が懸念される。

全体総括

令和2年より地方公営企業法の財務規程適用により、消費税等の節税効果による経費節減が見込めた一方で、一般会計からの繰入への依存を抑制するため、健全な経営化に向けて、経営体制のあり方や今後の投資のあり方、適切な使用料体系、汚水処理費の削減に向け、計画的で合理的な事業運営を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。